

平成 24 年 12 月 14 日  
沖縄電力株式会社

## エネルギー記者会における社長会見について

電気事業連合会加盟各社は、エネルギー記者会において、毎月（8 月を除く）輪番で社長および副社長による定例記者会見を行っております。

本日、当社社長 石嶺伝一郎が会見を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

1. 日 時： 平成 24 年 12 月 14 日（金） 16:05
2. 場 所： 経団連ビル 電事連 1801 会議室  
（東京都千代田区大手町）
3. 出席者： エネルギー記者会加盟各社
4. 配布資料：
  - ①最近の沖縄経済の動向について
  - ②電力需要の動向について
  - ③吉の浦火力発電所 1 号機の営業運転開始と今後の工事等について

以 上

## 1. 沖縄経済の動向について

### ○現状

最近の県内経済は、個人消費や観光関連を中心に堅調に推移しており、全体として緩やかに拡大している。

- ・ 個人消費 …… 地デジ移行後の家電の低迷やエコカー補助金効果の剥落による新車販売台数の足元での減少はあるものの、県民消費の底堅さに加え、新規出店効果や観光客の増加を背景に、全体としては堅調に推移している。
- ・ 観光 …… 国内客は、安定した需要や格安航空会社（LCC）の就航を背景に、堅調に推移している。外国客は、空路・海路の増加により好調に推移している一方で、尖閣問題による影響から中国客の減少がみられるが、観光客全体に占める割合は小さいため影響は限定的。
- ・ 建設関連 …… 公共工事を中心に持ち直しの動きがみられる。新設住宅着工戸数は、人口や世帯数の増加を背景に堅調に推移している。
- ・ 雇用 …… 完全失業率は全国に比べて高い水準にあるものの、緩やかな改善傾向を辿りつつある。

### ○先行き

個人消費や観光関連の堅調な推移に加え建設関連が持ち直しつつあることから、引き続き緩やかに拡大していくことが見込まれる。また、今年度からスタートした「新たな沖縄振興計画」に基づく各種施策の展開により、更なる成長・発展が期待される。

主要経済指標（対前年同期伸び率）の推移

（単位：％）

項目	23年度			24年度		
	上期	下期	年度計	上期	10月	4～10月
大型小売店売上高	0.8	3.4	2.1	1.8	8.6	2.7
新車販売台数	▲25.2	32.3	▲2.6	36.5	▲0.5	31.7
家電卸販売額	▲4.3	▲24.7	▲14.7	▲15.7	▲1.0	▲14.1
入域観光客数	▲11.1	6.3	▲3.1	8.9	0.8	7.6
公共工事請負金額	▲6.6	▲19.8	▲13.6	14.6	41.3	18.9
新設住宅着工戸数	14.8	0.2	7.5	9.7	19.9	11.1
完全失業率	7.3	6.9	7.1	7.0	5.9	6.9
企業倒産金額	93.5	44.4	75.4	▲67.0	50.2	▲64.6

注①：大型小売店売上高は全店舗ベース。

注②：家電卸販売額は概算値。

注③：完全失業率は原数値。

〔データ出所：沖縄総合事務局、沖縄県、りゅうぎん総合研究所、他〕

## 2. 電力需要の動向について

○平成24年度4～11月の電力需要：52億kWh（対前年伸び率▲1.1%）

- ・民生用需要  
 業務用電力において新規お客さまによる需要増がみられたものの、台風の影響や気温が低めに推移したことによる需要減から前年を下回った。
- ・産業用需要  
 駐留軍や水道業を中心とした需要減により前年を下回った。

### 平成24年度4～11月 電力需要実績

（単位：百万kWh、%）

	24年度				23年度
	上期	10月	11月	(4月～11月)	(4月～11月)
電灯計	(0.1) 1,540	(▲15.0) 222	(▲2.7) 213	(▲2.2) 1,975	2,019
業務用	(2.0) 1,493	(▲3.4) 255	(▲3.5) 229	(0.6) 1,977	1,964
低圧	(▲2.3) 266	(▲21.1) 39	(▲14.6) 32	(▲6.2) 337	359
その他	(18.8) 27	(▲9.1) 4	(14.7) 3	(14.8) 34	30
民生用需要	(0.9) 3,326	(▲10.2) 520	(▲3.8) 477	(▲1.1) 4,323	4,372
高圧A	(0.6) 226	(▲6.0) 36	(2.7) 38	(0.0) 300	299
大口	(▲1.1) 436	(▲3.7) 71	(▲4.4) 70	(▲1.8) 577	588
産業用需要	(▲0.5) 662	(▲4.5) 107	(▲2.0) 108	(▲1.2) 877	887
合計	(0.6) 3,988	(▲9.3) 627	(▲3.5) 585	(▲1.1) 5,200	5,259
業務用	(1.1) 331	(2.9) 54	(▲4.3) 47	(0.7) 432	428
産業用 その他	(▲0.8) 297	(▲2.5) 49	(▲6.0) 46	(▲1.7) 392	399
(再掲) 特定規模需要	(0.2) 628	(0.3) 103	(▲5.2) 93	(▲0.4) 824	827

※上段は対前年伸び率

※当社の特定規模需要の範囲は、特別高圧で受電し原則として使用規模が2,000kW以上のお客さま

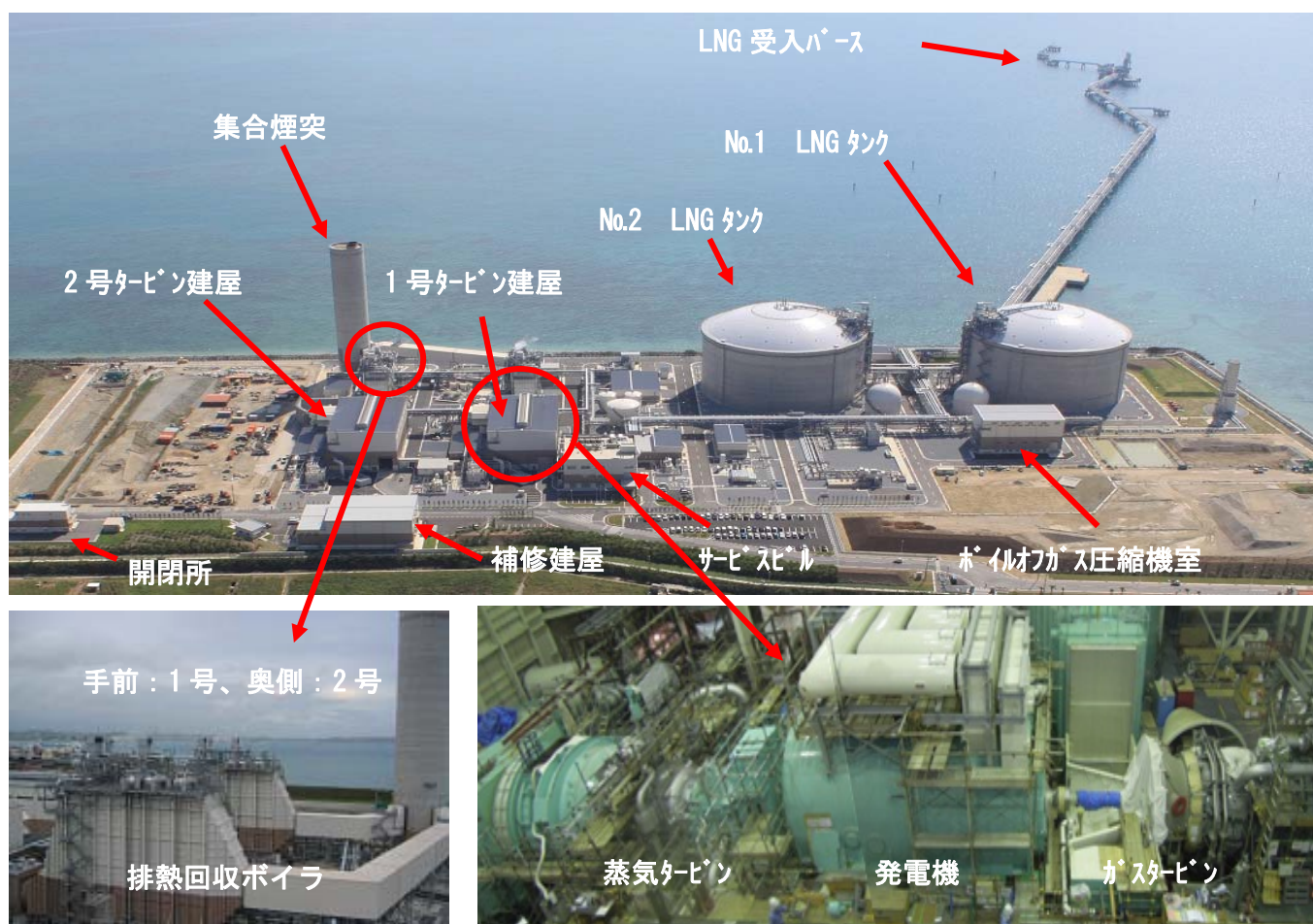
以上

### 3. 吉の浦火力発電所1号機の営業運転開始と今後の工事等について

当社は、「電力の安定供給」や「エネルギーセキュリティの向上」、「地球温暖化対策」および「ガス関連事業への展開」を目的に、当社初のLNG(液化天然ガス)を燃料とするLNGコンバインドサイクル発電方式を採用した吉の浦火力発電所1号機の営業運転を平成24年11月27日に開始しました。その概要ならびに今後の予定等についてお知らせいたします。

#### (1) 吉の浦火力発電所の概要

- 所在地：沖縄県中頭郡中城村字泊
- 敷地面積：18.6ha
- 発電方式：LNGコンバインドサイクル発電方式
- 出力※1：25.1万kW(※1:大気温度25℃時)
- 燃料の種類：液化天然ガス(LNG)
- タンク容量：14万kL×2基
- バース・配管橋：約1,350m
- 煙突高：地上高80m
- 運開日：1号機 平成24年11月27日



#### (2) 主な建設の経緯と今後の予定

- 2002年(H14) 9月 LNG火力発電所の建設決定
  - 2007年(H19) 5月 LNG設備工事開始
  - 2012年(H24) 5月 燃料(LNG)初受入
  - ” 6月 1号機初併入・試運転開始
  - ” 11月 1号機営業運転開始
  - ” 12月 2号機(25.1万kW)初併入・試運転開始予定
  - 2013年(H25) 5月 2号機営業運転開始予定
- ※2号機の建設工事はほぼ完了し、今後は営業運転開始に向けた調整を行っていきます

【発電所位置について】



#### (3) 燃料調達について

- 契約先：大阪ガス株式会社
  - 契約期間：平成24年度から27年間
  - 主な供給源：豪州ゴ-ゴ-プロジェクト
  - 受渡条件：着棧渡し(EX-Ship)
  - 受入実績および計画：
    - H24年5月・11月、各6.5万t(実績)
    - H25年2月、6.5万t受入予定
- ※H25年度以降、受入量を徐々に増やし、最終的には年間40万tを予定。



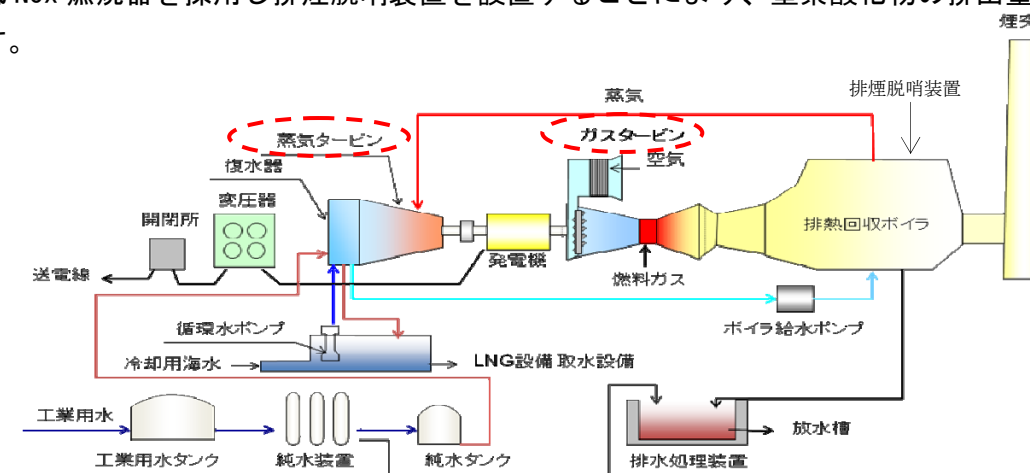
(H24年5月 第1船入船の様子)

#### (4) LNGコンバインドサイクル発電方式について

LNGコンバインドサイクル発電設備とはLNG(液化天然ガス)を燃料とし、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせることにより、発電効率の向上を図った複合サイクルの発電設備です。

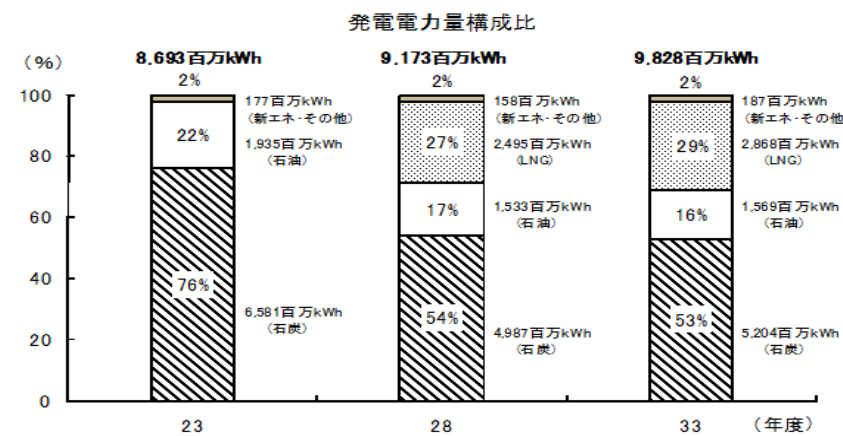
発電効率が約51%と従来型火力に比べ約10ポイント程度高く、また、ばいじん、硫黄酸化物(SOx)が発生せず、二酸化炭素(CO2)の排出量も比較的少ないことから、環境面においても優れています。

加えて、低NOx燃焼器を採用し排煙脱硝装置を設置することにより、窒素酸化物の排出量低減を図っています。



#### (参考1) 燃料種別発電電力量構成比

吉の浦の運開に伴い、当社の燃料種別の電力量構成比は石炭が5割強、LNG3割、石油が2割弱となります。



(注) 他社分を含みます。  
(注) 四捨五入の関係で合計値が合わないことがあります。

#### (参考2) 災害対策用電源の建設計画について

災害対策用電源として、燃料多様型の「吉の浦ガスタービン発電所1号機(仮称)」(出力約3.5万kW：H26年10月運開予定)の建設を計画しております。同発電所は、LNGに加え、灯油等の多様な燃料を使用することが可能です。